

芸舞妓 春の舞

日時 **1月6日(土)**

午後1時～、午後2時～ 2回公演
(各回約30分)

場所 **平成知新館 グランドロビー**

料金 **無料**(ただし、当日の観覧券等が必要)

京の華やかで
優雅な舞を博物館で
ご鑑賞ください。



お正月は
ボクもみんなに
会いに行くリン!

平成知新館内か
庭園に登場
するリン!



京都国立博物館 公式キャラクター「トラりん」 登場スケジュール

日時 **1月2日(火)、3日(水)、
5日(金)、6日(土)、
7日(日)、8日(月・祝)**

①午前10時～、②午前11時20分～、
③午後1時20分～、④午後3時～、
⑤午後4時～(各回約20分)

京都国立博物館開館120周年記念 琉球古典 たまゆらの世界

日時 **1月8日(月・祝)**

午後1時～、午後6時～ 2回公演

場所 **平成知新館 講堂**

料金 **前売6,500円 / 当日7,000円**
(全席指定・博物館観覧料含む)

※前売券完売の場合、当日券の販売はございません。
※本チケットにて名品ギャラリーをご覧いただけます
(公演当日開館時間中のみ有効)



演目
琉球舞踊「若衆こてい節」
琉球舞踊「諸屯」
人間国宝による琉球古典音楽独唱
創作舞踊「軒端の梅」(本公演初演作品)
組踊「手水の縁」
(予告なく変更の場合がございます。予めご了承ください)



主催：一般社団法人 ステージサポート沖縄
共催：京都国立博物館

2018 京博の お正月

一月二日より開館
お正月は博物館へ

特集展示開催

書道パフォーマンス

日時 **1月14日(日)** 午後1時～

場所 **明治古都館 玄関ホール**

演者 **立命館宇治高等学校書道部**

料金 **無料**(ただし、当日の観覧券等が必要)

新春をテーマに
高校生が書を
披露します。

一般参加できる
書道体験も開催。



新春



京都国立博物館 東山七条 〒605-0931 京都市東山区茶屋町527
KYOTO NATIONAL MUSEUM <http://www.kyohaku.go.jp>

イベントに関する
お問合せ

総務課事業推進係 TEL.075-531-7504
(平日10:00～12:00、13:00～17:00、土日・祝日及び12月26日～1月3日は除く)

新春
特集
展示

『いぬづくし-千支を愛でる-』

2017年12月19日(火)~2018年1月21日(日)
平成知新館(2F-1・2展示室)

社会性が高い犬は、古くから人間に愛されてきました。やはり猟犬としてのかかわりが古く、『播磨国風土記』には麻奈志漏(まなしろ)という応神天皇の猟犬の話が出てきます。その一方で、愛玩犬、特に、小型室内愛玩犬として狎(ちん)と呼ばれた一類があります。現在では白黒の長毛で鼻がくしゃっとつまった(短吻種と言います)ジャパニーズ・チンと呼ばれる日本原産の改良・固定種が狎とされています。狎の歴史は非常に古く、短吻種犬は、チベット原産で奈良時代には既に日本に伝わっていました。しかし、江戸時代には、短吻種だけではなく、長吻種の日本テリアに近い姿のものも狎と呼ばれていました。古くからの犬と人とのかかわりに思いを馳せていただければ幸いです。



〈花弁鳥獸図巻(部分)〉国井応文・望月玉泉筆 当館

特集
展示

『御所文化を受け継ぐ -近世・近代の有職研究-』

2017年12月19日(火)~

2018年1月28日(日)

平成知新館(1F-2~4展示室)



〈五衣唐衣裳装束 秩父宮勢津子妃所用〉当館

平安時代に頂点を迎えた御所を中心とする公家文化は、社会の変動や応仁の乱をはじめとする内戦によって、次第に簡略化へと向かいました。それが復興へと向かうのは、世相が落ち着く江戸時代に入ってからです。それ以降、理想の時代の再現をめざして、さまざまな研究が重ねられました。京都国立博物館が所蔵する御所旧蔵の作品群を中心に、近世・近代の御所文化再興の様相を振り返ります。

土
曜
講
座

- 12月23日 「色を科学分析する」降幡 順子(当館 保存科学室長)
- 1月6日 「作品から見える人とイヌのかかわり」大原 嘉豊(当館 保存修理指導室長)
- 13日 「京都御所旧蔵品と国立博物館」山川 暁(当館 工芸室長)
- 20日 「近代の有職故実-江戸時代から伝えられた雅び-」田中 潤 氏(学習院大学 非常勤講師)
- 27日 「梵音具-仏教の鳴器-」伊藤 信二(当館 企画室長)



- JR・近鉄/京都駅下車、D1のりばから市バス100号、D2のりばから市バス206・208号系統にて博物館・三十三間堂前下車、徒歩すぐ
- 京都駅八条口のりばからプリンセスラインバス(京都女子大学前行き)にて東山七条下車、徒歩1分
- 京阪電車/七条駅下車、東へ徒歩7分
- 阪急電車/河原町駅下車、京阪電車あるいは市バス207号系統にて博物館へ
- ご来館にはなるべく公共交通機関をご利用下さい。駐車場は有料となっております。

開館時間 午前9時30分~午後5時

*金・土曜日は午後8時まで開館 *入館は閉館の30分前まで

観覧料 一般:520円(410円) 大学生:260円(210円)

*高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は無料

* ()内は20名以上の団体料金

*キャンパスメンバーズは、学生証をご提示いただくと無料となります。

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日休館)

*12月25日(月)~2018年1月1日(月・祝)は全館休館。

*12月19日(火)~12月24日(日)は名品ギャラリー1階彫刻室、3階陶磁考古室を閉室しております。

一般お問い合わせ

TEL 075-525-2473(テレホンサービス)
http://www.kyohaku.go.jp